

2026 年度 一橋大学 前期 歴史総合・日本史探究

I

問 1 (6 字)

1 往生要集。

問 2 (85 字)

2 法然は、念仏さえ唱えれば誰もが極楽往生できるとする専修念仏を説き、厳しい修行、難解な教理を退け、在家の民衆にも浸透した。親鸞らに影響を与え、鎌倉新仏教の発展に貢献した。

問 3 (122 字)

3 臨済宗は、北条時頼が南宋から渡来した蘭溪道隆を建長寺の開山とするなど鎌倉幕府の保護を受けた。さらに室町幕府の整備した五山制度の下、臨済僧は政治・外交・文化面で大きな役割を果たしたが、五山に属さない林下も自由な活動を通じて地方で勢力を伸ばした。

問 4 (118 字)

4 一向宗。蓮如は教えを平易な文章で書かれた御文で説き、北陸・近畿・東海で布教を進めると、国人や百姓ら門徒は、惣村の道場を中心に講を結んで信仰を深めた。越前吉崎や摂津石山では、周囲に堀や土塁をめぐらした寺内町が成立し、商工業者が集住した。

問 5 (69 字)

5 一向一揆は武力を行使し、守護を滅ぼして一国を実質的に統治することもあったが、秀吉の措置により全ての仏教宗派が統一政権の支配下に置かれた。

2026 年度 一橋大学 前期 歴史総合・日本史探究

Ⅱ

問 1 (10 字)

1 血盟団。井上日召。

問 2 (12 字)

2 井上準之助。高橋是清。

問 3 (136 字)

3 世界恐慌の影響が深刻となりイギリスが金本位制を停止すると、日本もこれに追随するという見方が広がった。三井などの財閥系銀行は、金本位制停止後に円が下落すると予測してドル買いに狂奔したが、金輸出再禁止が実施されると円が暴落し、ドルを売って円を買い戻し、巨額の為替差益を得た。

問 4 (242 字)

4

①貨幣法を制定して金本位制を確立したのは、日清戦後経営のために、欧米からの資本輸入を促進することが目的であった。

②第一次世界大戦中に欧米が金本位制を停止するなか、金の国外流出防止と外国為替相場および国内物価の安定を目的とした。

③外国為替相場を円高で安定させ、産業合理化を進めて国際競争力を強化する目的であった。

④外国為替相場を下落させて、合理化を進めた諸産業が輸出を伸ばし昭和恐慌を克服するとともに、管理通貨制度の下で赤字国債を発行して満洲事変のための軍事費を調達する目的であった。

2026 年度 一橋大学 前期 歴史総合・日本史探究

Ⅲ

問 1 (241 字)

1 第一次世界大戦後、イギリスはパレスチナを委任統治したが、大戦中にユダヤ国家の建設を約束したことや 1930 年代以降のユダヤ人迫害によって移民が増加し、アラブ人との対立が深刻となった。第二次世界大戦後、国際連合の決議でユダヤ人によるイスラエル建国が認められると、これに反発したアラブ諸国はパレスチナの解放を掲げてイスラエルと軍事衝突した。その後も衝突はくり返されたが、1973 年に勃発した第四次中東戦争では、アラブの産油国がアメリカおよびその同盟国に対する石油輸出を制限する石油戦略をとった。

問 2 (159 字)

2 日本では、石油価格の高騰により高度経済成長が終焉して狂乱物価に見舞われたが、その後も収束しないインフレの下で不況となるスタグフレーションに陥った。そこで、減量経営とともに省エネルギー型の産業構造へと転換し、石油への依存度を低下させ、原子力や天然ガスなどエネルギー源の多様化が進んだ結果、日本経済は安定成長へ移行した。